

II 国際的コンクール等の開催及び協力

国際オーボエコンクール・軽井沢

3年に1度、オーボエ単独として世界でも大変珍しい国際オーボエコンクール



第11回 国際オーボエコンクール・軽井沢

「国際オーボエコンクール」は、オーボエの真価を広めると共に、優れた人材の発見、育成に努め、日本及び世界への活躍の場を広げ、国際的な視野をもって音楽文化の発展に寄与しようとするもので、1985年より3年毎に開催しています。

当コンクールの入賞者からは、シカゴ交響楽団、ベルリン・ドイツ・オペラ管弦楽団、読売日本交響楽団、パリ管弦楽団、フランス国立管弦楽団、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、リヨン国立管弦楽団、ボローニャ歌劇場管弦楽団、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、サイトウ・キネン・オーケストラ、トゥールーズ・キャピトル管弦楽団、札幌交響楽団、フランクフルト歌劇場管弦楽団、水戸室内管弦楽団の首席奏者やソロ・オーボエ奏者など、世界で活躍する優秀な人材を輩出しており、国際コンクールとしての地歩を確固たるものとしています。

第1回～第7回は東京にて、2006年の第8回より日本有数の自然に囲まれた長野県の軽井沢大賀ホールにて開催しています。国際音楽コンクール世界連盟会員。第11回は2015年秋に開催予定。

「第10回 国際オーボエコンクール・軽井沢」2012年9月30日(日)-10月8日(月・祝)

審査委員:ハンスイェルク・シェンベルガー [審査委員長](オーボエ奏者、指揮者)、モリス・ブルグ(オーボエ奏者)、ラリー・コムズ(元シカゴ交響楽団首席クラリネット奏者)、古部賢一(新日本フィルハーモニー交響楽団 首席オーボエ奏者)、ゴードン・ハント(フィルハーモニア管弦楽団 ソロ・オーボエ奏者、ロンドン室内管弦楽団 ソロ・オーボエ奏者)、小畑善昭(東京藝術大学音楽学部教授)、吉田 将(読売日本交響楽団 首席ファゴット奏者)

〈第10回〉2012年

- 第1位 [大賞賞] オリヴィエ・スタンキエーヴィチ (フランス/スウェーデン)
- 第2位、奨励賞、軽井沢町長賞 [聴衆賞] 金子亜未 (日本)
- 第3位 近藤那々子 (日本)
- 入賞 チョン・イェチャン (韓国)、ミハイル・ジュラヴリョフ (ロシア)



オリヴィエ・スタンキエーヴィチ



金子亜未



近藤那々子

〈第9回〉2009年

- 第1位 イヴァン・ボディオモフ (ロシア)、ヴィオラ・ヴィルムゼン (ドイツ)
- 第2位 フィリップ・トードゥル (フランス)
- 第3位 該当者なし
- 入賞 近藤那々子 (日本) [奨励賞]、アレクサンドル・メージュ (フランス)、高島美紀 (日本)

〈第8回〉2006年

- 第1位 ルーカス・マシアス・ナバロ (スペイン)
- 第2位 ノラ・シスモンディ (フランス)
- 第3位 ミハイル・ジュラヴリョフ (ロシア)
- 入賞 ヴィクトール・アヴィヤ (フランス)、チョー・ウン・ヨン (韓国)、チン・リン (中国)

〈第7回〉2003年

- 第1位 ヴィレム・ヴェヴェルカ (チェコ共和国)
- 第2位 マルティン・フルティガー (スイス)
- 第3位 ドメニコ・オルランド (イタリア)
- 入賞 セバスティアン・ヒメノ・バルボア (スペイン)、パヴェル・ソコロフ (ロシア)、ニコラ・パトルッシ (イタリア)

〈第6回〉2000年

- 第1位 アレクサンドル・ガテ (フランス)
- 第2位 該当者なし
- 第3位 セバスティアン・ジオ (フランス)、パヴェル・ソコロフ (ロシア)
- 入賞 セバスティアン・ジブレー (フランス)、加瀬孝宏 (日本)、ジルダ・ブラード (フランス)



〈第5回〉1997年

- 第1位 該当者なし
- 第2位 イオンヒー・クワック (韓国)
- 第3位 アンヌ・レニエ (フランス)、エリック・スペレール (フランス)
- 入賞 セバスティアン・ヒルデン (ドイツ)、マリアヌス・ルジャンドル (フランス)

〈第4回〉1994年

- 第1位 ジョヴァンニ・デアンジェリ (イタリア)、パオロ・グラツィア (イタリア)
- 第2位 該当者なし
- 第3位 マチアス・ベッカー (ドイツ)
- 入賞 エレーヌ・ドゥヴィルヌーヴ (フランス)、イサーク・ドゥアルテ (ブラジル)、フィリップ・ジョルジ (フランス)、イレーネ・ミュラー (ドイツ)、イーゴリ・ストロシenko (ロシア)

〈第3回〉1991年

- 第1位 ジェローム・ギシャール (フランス)
- 第2位 ブリギッテ・ホーリッツ (ドイツ)
- 第3位 高井美香 (日本)
- 入賞 ロラン・ジニュー (スイス)、渡辺尚洋 (日本)、セバスチャン・マルキ (カナダ)

〈第2回〉1988年

- 第1位 該当者なし
- 第2位 アレックス・クライン (ブラジル)、ジャック・ティス (フランス)
- 第3位 ピーター・クーパー (アメリカ)
- 第4位 アンティエ・フォン・モック (ドイツ)
- 入賞 井上昌彦 (日本)、高井美香 (日本)

〈第1回〉1985年

- 第1位 該当者なし
- 第2位 辻 功 (日本)、フランソワ＝グザヴィエ・ブーラン (フランス)
- 第3位 ジャン＝ピエール・アルノー (フランス)
- 入賞 植野勝秀 (日本)、吉岡りえ (日本)、渡辺克也 (日本)